

## &lt;ニュースリリース&gt;

2021 年 7 月 27 日

## 報道関係各位

**野菜用殺虫剤「プリロッソ®粒剤オメガ」、7 月 27 日より販売開始**

エフエムシー・ケミカルズ株式会社（以下「FMC」）（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：平井康弘）は、2021 年 7 月 27 日より、野菜用殺虫剤「プリロッソ®粒剤オメガ」の販売を開始します。

殺虫剤プレバソン®、フェルテラ®剤でおなじみの農業科学企業 FMC は、化学農薬事業、高付加価値肥料資材などのプラントヘルス事業を通じ、継続して革新的な製品やサービスを世界で提供、急成長しています。

近年、世界各地で異常気象が度重なり、それに伴う栽培環境が変動、日本においても、高い安全性や持続可能性、高品質な農作物への需要は高まるばかりです。

プリロッソ®粒剤オメガは、ねぎやだいこん、果菜、葉菜類等の難防除・抵抗性・重要害虫の加害を、極微量の経口取り込みで即効的に停止し、害虫に作物の価値を低下させる傷を作らせず、その高い防除効果が 3～4 週間長く持続します。

作物の健全な生育をしっかりと守ることで、作物を美しく仕上げ、生産者の手取り収入を増やすことに貢献します。

根から吸収されたジアミド系の卓効成分シアントラニリプロール（通称：サイアジピル®）が、すばやく作物体全体にいきわたり、作物の内側から害虫をブロック。薬剤のかかりにくい葉裏や葉の隙間に潜む害虫にも、高い効果を発揮します。

ねぎで近年問題の B 系統ネギハモグリバエ、ネギアザミウマ、だいこんの手取り収入に直結するキスジノミハムシ、果菜のコナジラミ類、アブラムシ類、アザミウマ類、葉菜のチョウ目害虫等の加害に、極めて優れた防除効果を示します。

本製品の供給については、日産化学株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：八木晋介）、丸和バイオケミカル株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：古塩賢太郎）（50 音順）と、販売パートナーとして共に本製品の普及を推進、活動を展開していく予定です。

**【野菜殺虫剤 プリロッソ®粒剤オメガの製品特長】**

- ・根から吸収されたジアミド系の卓効成分シアントラニリプロール（通称：サイアジピル®）が、すばやく作物体全体にいきわたり、作物の内側から害虫をブロック
- ・薬剤のかかりにくい葉裏や葉の隙間に潜む害虫にも、極微量の経口とりこみで、高い効果を発揮
- ・ねぎやだいこん、果菜等の難防除・抵抗性・重要害虫の食害を即効的に停止

・ねぎで近年問題の B 系統ネギハモグリバエ、ネギアザミウマ、だいこんの手取り収入に直結するキスジノミハムシ、果菜のコナジラミ類、アブラムシ類、アザミウマ類、葉菜のチョウ目害虫等の加害に、極めて優れた防除効果を発揮

- ・害虫に作物の価値を低下させる傷を作らず、高い防除効果が 3～4 週間長く持続
- ・作物の健全な生育をしっかりと守り、作物の美しい仕上げ、生産者の手取り収入の増加に貢献
- ・さらさらの粒剤で、現行製剤よりさらに使いやすい

### 【製品概要】

- ・商品名: プリロッソ®粒剤オメガ
- ・農林水産省登録: 第 24429 号
- ・農薬の種類: シアントラニリプロール粒剤
- ・有効成分: シアントラニリプロール (通称: サイアジピル®) 0.50%
- ・販売規格: 1 kg (10 袋入/ケース)、10 kg
- ・メーカー希望小売価格: オープン
- ・販売開始日: 2021 年 7 月 27 日
- ・製品写真: 添付資料参照
- ・製品情報: <http://www.fmc-japan.com/Agricultural-Solutions/pryrossoomega>

### 本件に関するお問い合わせ先

エフエムシー・ケミカルズ株式会社 アグロサイエンス事業本部

TEL: 03-5208-1010 FAX: 03-5208-1012 MAIL: [Japan.PR@fmc.com](mailto:Japan.PR@fmc.com)

### FMC について

農業科学企業である FMC Corporation は、作物保護、プラントヘルス、衛生害虫やシロアリ、芝管理の分野において、市場主導型の発見および開発パイプラインによる製品ポートフォリオを通じ、世界中の生産者に革新的なソリューションを提供しています。この強力な先端技術の組み合わせには、Rynaxypyr®と Cyazypyr®の有効成分をベースとした主要な害虫防除製品、除草剤、Talstar®ブランドの殺虫剤、殺菌剤などがあります。FMC の製品ポートフォリオには微生物農薬も含まれています。FMC Corporation は世界中で約 6,500 人の従業員を雇用しています。詳しくは [www.fmc.com](http://www.fmc.com) をご覧ください。FMC、FMC ロゴ、®を付した商標は、FMC Corporation またはその米国およびその他の国の子会社・関連会社の登録商標です。必ずラベルの全ての指示、制限および使用上の注意をよく読んで従ってください。ここに掲載されている製品は全ての国や管轄地域で販売や使用のために登録されているわけではありません。

添付資料 1: 農薬の適用病害虫の範囲及び使用方法

| 作物名          | 適用害虫名                                                           | 使用量                                                                    | 使用時期           | 本剤の使用回数 | 使用方法                                                       | シアントラニリブロールを含む農薬の総使用回数                                            |
|--------------|-----------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------|----------------|---------|------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------|
| キャベツ         | コナガ、アオムシ<br>アブラムシ類<br>アザミウマ類<br>ハイマダラノメイガ                       | セル成型育苗トレイ1箱<br>または<br>ペーパーポット1冊<br>(約30×60cm、<br>使用土壌<br>約1.5～4ℓ)当り50g | 育苗期後半<br>～定植当日 | 1回      | 本剤の所定量を<br>セル成型育苗トレイ<br>または<br>ペーパーポットの<br>上から均一に<br>散布する。 | 4回以内<br>(定植時までの処理は<br>1回以内、<br>定植後の散布は<br>3回以内)                   |
|              | コナガ、アオムシ<br>ハイマダラノメイガ                                           | 1g/株                                                                   | 育苗期後半<br>～定植時  |         | 株元散布                                                       |                                                                   |
|              | アブラムシ類<br>アザミウマ類                                                | 2g/株                                                                   |                |         |                                                            |                                                                   |
| はくさい         | コナガ、アオムシ<br>アブラムシ類<br>ハイマダラノメイガ                                 | セル成型育苗トレイ1箱<br>または<br>ペーパーポット1冊<br>(約30×60cm、<br>使用土壌<br>約1.5～4ℓ)当り50g | 育苗期後半<br>～定植当日 |         | 本剤の所定量を<br>セル成型育苗トレイ<br>または<br>ペーパーポットの<br>上から均一に<br>散布する。 |                                                                   |
|              | コナガ、アオムシ<br>ハイマダラノメイガ                                           | 1g/株                                                                   | 育苗期後半<br>～定植時  |         | 株元散布                                                       |                                                                   |
|              | アブラムシ類                                                          | 2g/株                                                                   |                |         |                                                            |                                                                   |
| ブロッコリー       | コナガ、アオムシ<br>アブラムシ類<br>アザミウマ類                                    | セル成型育苗トレイ1箱<br>または<br>ペーパーポット1冊<br>(約30×60cm、<br>使用土壌<br>約1.5～4ℓ)当り50g | 育苗期後半<br>～定植当日 |         | 本剤の所定量を<br>セル成型育苗トレイ<br>または<br>ペーパーポットの<br>上から均一に<br>散布する。 |                                                                   |
|              | コナガ、アオムシ                                                        | 1g/株                                                                   | 育苗期後半<br>～定植時  |         | 株元散布                                                       |                                                                   |
|              | アブラムシ類<br>アザミウマ類                                                | 2g/株                                                                   |                |         |                                                            |                                                                   |
| レタス          | オオタバコガ<br>アブラムシ類<br>ハモグリバエ類                                     | セル成型育苗トレイ1箱<br>または<br>ペーパーポット1冊<br>(約30×60cm、<br>使用土壌<br>約1.5～4ℓ)当り50g | 育苗期後半<br>～定植当日 |         | 本剤の所定量を<br>セル成型育苗トレイ<br>または<br>ペーパーポットの<br>上から均一に<br>散布する。 |                                                                   |
|              | オオタバコガ<br>ハモグリバエ類                                               | 1g/株                                                                   | 育苗期後半<br>～定植時  |         | 株元散布                                                       |                                                                   |
|              | アブラムシ類                                                          | 2g/株                                                                   | 鉢上げ時           |         | 育苗培土混和                                                     |                                                                   |
| ピーマン         | アザミウマ類<br>コナジラミ類                                                |                                                                        | 育苗期後半<br>～定植時  |         | 株元散布                                                       |                                                                   |
|              | コナジラミ類                                                          |                                                                        | 鉢上げ時           |         | 育苗培土混和                                                     |                                                                   |
| トマト<br>ミニトマト | ハモグリバエ類<br>アブラムシ類<br>アザミウマ類<br>コナジラミ類                           |                                                                        | 育苗期後半<br>～定植時  |         | 株元散布                                                       |                                                                   |
| なす           | アブラムシ類                                                          |                                                                        | 鉢上げ時           |         | 育苗培土混和                                                     | 1回                                                                |
| きゅうり         | アザミウマ類<br>コナジラミ類<br>ハモグリバエ類                                     |                                                                        | 育苗期後半<br>～定植時  |         | 株元散布                                                       | 4回以内<br>(定植時までの処理は<br>1回以内、<br>定植後の散布は<br>3回以内)                   |
|              |                                                                 |                                                                        |                |         |                                                            |                                                                   |
| だいこん         | コナガ、アオムシ<br>アブラムシ類<br>ハイマダラノメイガ<br>カブラハバチ<br>キスジノミハムシ<br>ネキリムシ類 |                                                                        | は種時            |         | 播溝土壌混和                                                     | 4回以内<br>(は種時の土壌混和は<br>1回以内、散布は3回以内)                               |
| ねぎ           | アザミウマ類<br>ハモグリバエ類                                               |                                                                        | 収穫前日まで         | 3回以内    | 株元散布                                                       | 4回以内<br>(定植時までの処理は<br>1回以内、定植後の<br>処理は3回以内<br>(但し、株元灌注は<br>1回以内)) |
| 畑わさび         | アザミウマ類<br>ワサビリイロサルスズムシ                                          |                                                                        | 収穫21日前<br>まで   | 1回      | 全面土壌散布                                                     | 1回                                                                |
| なばな類         | アブラムシ類                                                          | 2g/株                                                                   | 定植時            |         | 株元散布                                                       |                                                                   |

## **添付資料 2: 注意事項**

### **効果・薬害等の注意**

- (1) アルカリ性肥料との同時施用はさけてください。
- (2) つまみ菜・間引き菜には使用しないでください。
- (3) みずかけな（水掛菜）に使用する場合は、ほ場内に水がない状態で使用してください。また、使用后 14 日間は入水しないでください。
- (4) 本剤の使用に当っては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、病虫害防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。

### **安全使用上の注意**

眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください（刺激性）  
直射日光をさけ、なるべく低温で乾燥した場所に密封して保管してください。

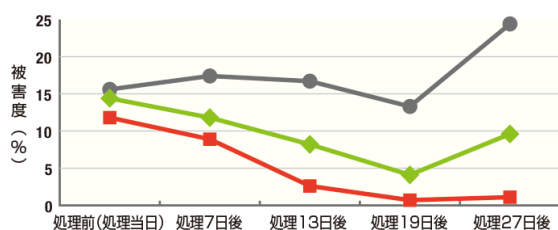
### 添付資料 3: 使用事例 (※プリロッソ®粒剤オメガとプリロッソ®粒剤の薬効は同等です)

#### ねぎでの事例

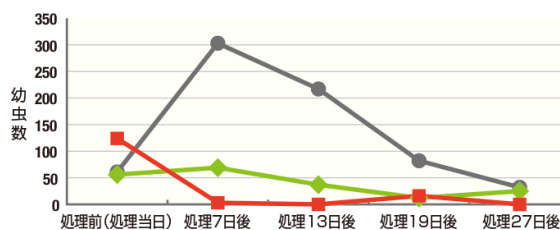
食害を長期間確実に止める。品質・収量を上げる。

- ・ 3～4 週間、高い効果を発揮
- ・ 新規系統の粒剤で効果的な抵抗性管理
- ・ ネギアザミウマ、ネギハモグリバエの食害を速やかに停止

#### ●ネギハモグリバエに対する防除効果



#### ●ネギアザミウマに対する防除効果



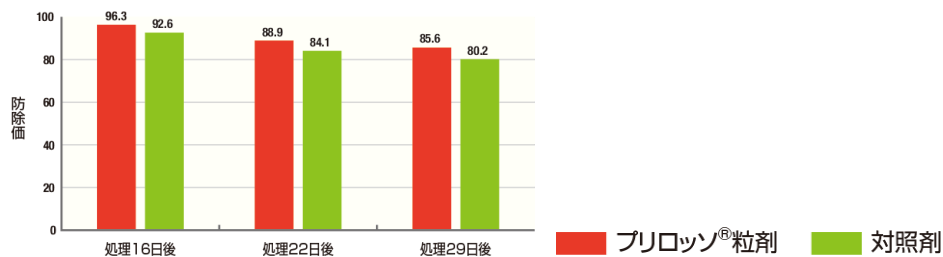
2019 年 鳥取県園芸試験場弓浜砂丘地分場

品種: 関羽一本太(トーホク) 播種: 2 月 20 日 定植: 5 月 8 日 処理: 6 月 13 日 (6kg/10a 株元散布し、土寄せした)

考察: 対照薬剤と比較して高い効果が認められた。 ■プリロッソ®粒剤 ◆対照剤 ●無処理



#### ネギハモグリバエ(B 系統)にも高い効果



2019 年 一般社団法人日本植物防疫協会 茨城研究所

播種: 3 月 28 日

定植: 5 月 13 日

処理: 5 月 14 日 (所定量株元に散布し、散布後十分量灌水した)

考察: 対照薬剤と比較して勝る防除効果が認められた。発生したネギハモグリバエは葉面が白化症状を呈し、これまで知られているマイン形成と異なり、新系統(B 系統)の可能性が高いと思われる。

## だいこんでの事例

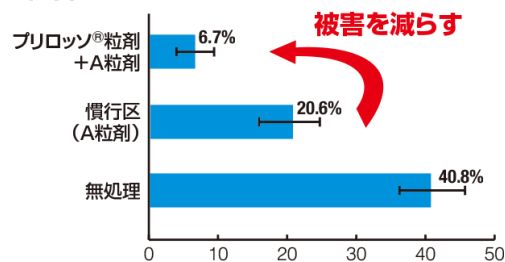
キスジノミハムシの加害を内側から即効ストップ！

既存粒剤との併用で、手取りの大幅向上を目指しましょう。

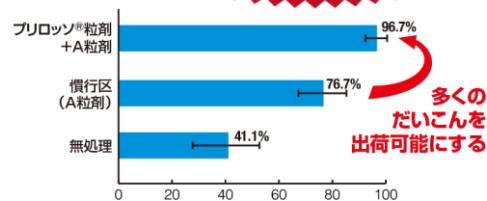
## キスジノミハムシに対する防除効果

### 鹿児島県での試験事例

#### ●被害度



#### ●出荷可能根率 (%)



2018 年 鹿児島県農業開発総合センター 大隅支場

供試品種: 夏天下

播種時期: 9月7日播種

供試薬剤: プリロッソ®粒剤 (6kg/10a 播種時播溝土壌混和、地表面から深さ5cm付近)

A粒剤 (4kg/10a 播種時播溝土壌混和、地上表面付近)

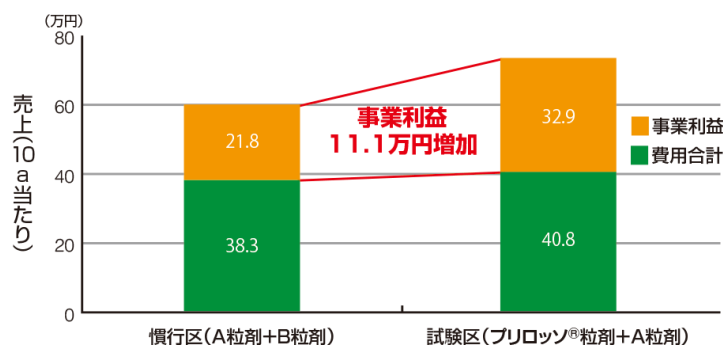
散布剤: なし

栽植密度等: 畦間130cm、条間40cm (2条播種) 白黒ポリマルチ栽培

供試機: 播種同時局所施用機 (2剤用)、車速連動施薬機、同時穴開シーダマルチャ

考察: キスジノミハムシの発生が多い9月播種でも、プリロッソ®粒剤とA粒剤の併用で生育期の散布を行わなくても被害抑制効果が認められた。ただし、生育期の散布を組み合わせた方がより効果が安定する場合もある (本種の発生タイミングと防除の時期)

### 長野県での試験事例



13.6万円/10a 売上増加!  
11.1万円/10a 利益増加!  
(慣行防除と比較)

2019 年 長野県 北信農業改良普及センター

播種時期: 6月19日播種 (実証区)、6月20日播種 (慣行区)

供試薬剤: 実証区: プリロッソ®粒剤 (6kg/10a)、A粒剤 (4kg/10a)

慣行区: B粒剤 (6kg/10a)、A粒剤 (4kg/10a)

処理方法: 播溝土壌混和

散布剤: 慣行散布

栽植密度等: 畦間120cm、株間30cm、条間45cm (2条播種)

供試機: 播種同時局所施用機、施薬機

考察: 被害度は慣行区が13.3、実証区が4.4で、防除効果は実証区が明らかに高いと考えられた。実証区は慣行区と比べ農業薬剤費、減価償却費等生産原価は上がるが、キスジノミハムシの防除効果が高く、出荷可能率が上がるため、最終的な事業利益は慣行区を上回ると考えられる。



添付資料 4：製品を持つ弊社代表取締役社長 平井康弘



添付資料 5: 製品写真





**添付資料 6: 製品写真**

